

結果報告 ①

2310117 令和5年度神戸川神門沖地区軟弱地盤対策工事



けんせつ小町パトロール隊として、2回目となる安全衛生面のパトロールを行いました。前回の指摘が改善されておりより良い作業環境が整えられていました。前回同様、現場・現場事務所とも5Sが行き届いておりとても綺麗でした。特に現場内の敷鉄板、道板、昇降階段には泥汚れがない状態でした。「どのようにしたらこんなに綺麗な状態が保てるのですか」と質問したところ、「職員・作業員さん含め、**みんなで『綺麗で働きやすい』**現場作りを心掛けている」とお話しされていました。所長の想いが現場で働く全ての方に伝わり、綺麗を維持するために皆さんで努力されていることがよく分かりました。  
【工事進捗率:46.9%】



工事概要の説明



【落雷対策】—ライトニングステーション—クローラクレーンへの落雷事故防止対策として、雷情報をリアルタイムに監視できる専用のシステムを導入しモニターで管理されていました。警告灯と連動しており、ランプの光や音で雷の発生に気付くことができ、落雷事故防止が図られているそうです。

地元広報誌に掲載



扉を閉める!  
(落下防止)



【作業員休憩所】テレビ・電子レンジ・ウォーターサーバーが追加で設置され、作業員の方が気持ちよく休憩できるよう快適な空間になっていました。ウォーターサーバーの横にはカフェスペースが設けられていました。寒いので温かい飲み物が提供できるよう準備されたとの事です。身体を休めるだけでなく、作業員同士のコミュニケーションも図られ、心の疲れを癒す工夫とアイデアがたくさん見られました。



作業員休憩所には、安全対策の掲示物やクレーンの災害事例集などの冊子が置かれていました。目に触れやすい場所にあることで、休憩時間でも安全意識の向上を図れます！

【指摘事項】現場事務所の看板裏に資材が置かれていました。すぐ横の資材置き場へ移動をお願いします。

【指摘事項】現場事務所周辺を囲ってある青ネットの一部が破れていました。補修をお願いします。



〈現場および現場周辺の様子〉



この現場は、神戸川堤防の堤防裏法尻付近(堤内地側)において軟弱地盤対策として広幅鋼矢板工を施工する工事です。現場は、前回準備中だった矢板工の施工が進められていました。1枚の幅が90cmの広幅鋼矢板を堤防沿いに連続して圧入し、ジョイントをかみ合わせて鉄の壁を構築します。長さは、平均11.5mを3枚縦に溶接で継ぎ足して35mになります。継ぎ足した35mの矢板を85枚施工されるそうです。現在1日2枚ずつ施工が進められています。インプラントNAVIシステムを導入し、施工中における矢板の貫入深度や、傾斜データをリアルタイムに取得し、高精度な施工品質管理を行っておられました。施工の様子を間近で見させていただき、重量物を扱うため常に危険と隣合わせであると感じました。

施工中の鋼矢板

インプラントNAVIシステムの説明を受けました



【工事情報看板】地元の方々へ、「見える化」「分かりやすい」工事の紹介方法として、工事情報看板に施工イメージ図が掲示されていました。作業工程が記載されている横には、QRコードがあり、スマートフォンで読み取るとCGアニメーションで閲覧ができ、現場の理解を得やすくなるよう工夫されていました。



現場には敷鉄板や砕石が敷いてありましたが、下の舗装が傷つかないように養生シートを敷いてから敷鉄板や砕石を敷いておられました。



消火器ののぼり旗は遠くからでも良く見えます！



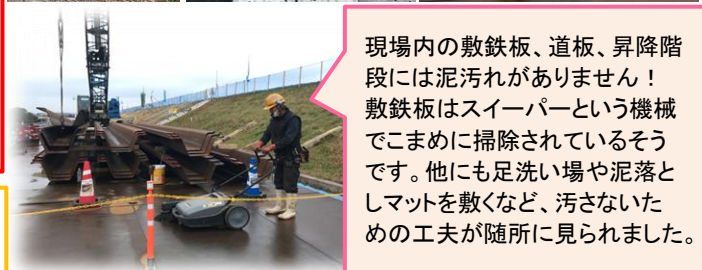
矢板には施工する順番を間違えないよう偶数は赤色・奇数は青色として色分けされていました。矢板前には識別用のカラーコーンが設置され一目で分かるようになっています。



【指摘事項】  
矢板の識別用カラーコーンの横に道具やコードが置かれていました。すぐに使用されない場合は片付けをお願いします。



【指摘事項】  
作業員休憩所裏に資材が置かれていましたが、室外機から離して保管をお願いします。看板裏にほうきが置かれていましたが使用後は片付けをお願いします。



現場内の敷鉄板、道板、昇降階段には泥汚れがありません！敷鉄板はスーパーという機械でこまめに掃除されているそうです。他にも足洗い場や泥落としマットを敷くなど、汚さないための工夫が随所に見られました。

工事終盤も厳しい寒さが続きます。今まで以上に体調管理に気を付けながら、無事に竣工の日を迎えられますことを、心から願っています。皆様ありがとうございました。ご安全に！！